

世界史 B 小テスト5 教科書 P126~127

- 1 フランク王国の分裂にともない、「東フランク」「西フランク」「中部フランク・イタリア」の3つの勢力の間に結ばれた、843年の条約は何か。
- 2 870年に結ばれた条約で、かつてのフランク王国が「東フランク」「西フランク」「イタリア」の3つに分かれることになった条約は何か
- 3 西フランクは、今のどの国の起源とされているか。
- 4 西フランクの王家は、987年に断絶した。この王家の名称は何か。
- 5 西フランク王家の断絶後、貴族の合意によって国王に即位した人物は誰か。
- 6 東フランクは、今のどの国の起源とされているか。
- 7 東フランク王家の断絶後、新たに成立した王朝は何か。
- 8 7の第2代国王で、教皇から帝冠を与えられて皇帝となった人物は誰か。
- 9 8の人物が撃退した、中央アジアから侵入した騎馬遊牧民は何か。
- 10 9がパンノニアに定住し、カトリックを受け入れて建国した国は何か。
- 11 9と同じく、この時期にスカンディナヴィア半島などから侵入してきた勢力は何か。
- 12 8の人物が皇帝に即位したことで成立した、中央ヨーロッパの帝国の名称は何か。
- 13 12が国内統一を損なう原因となった、イタリア征服をめざす軍事政策を何と呼ぶか。
- 14 この時期のイタリアは、様々な小勢力に分裂した。イタリア国内に成立した小勢力を、3つあげなさい。

世界史 B 小テスト5 解答

- 1 ヴェルダン条約
- 2 メルセン条約
- 3 フランス
- 4 カロリング家
- 5 ユーグ=カペー
- 6 ドイツ
- 7 ザクセン朝
- 8 オットー1世
- 9 マジャール
- 10 ハンガリー
- 11 ヴァイキング（ノルマン人）
- 12 神聖ローマ帝国
- 13 イタリア政策
- 14 教皇領 ヴェネツィア ジェノヴァ フィレンツェ ピサ など